

入学試験要項 2024

帝京大学大学院

Teikyo University Graduate School

■ 医療技術学研究科

〈博士前期・修士課程〉 〈博士後期課程〉

板橋キャンパス

- ・ 視能矯正学専攻
- ・ 看護学専攻
- ・ 診療放射線学専攻（診療放射線コース、医学物理士コース）
- ・ 臨床検査学専攻
- ・ 救急救護学専攻

八王子キャンパス

- ・ スポーツ健康科学専攻

宇都宮キャンパス

- ・ 柔道整復学専攻

目 次

1.	専攻・課程・キャンパス / 出願から入学までの流れ	2
2.	アドミッション・ポリシー	3
3-1.	募集人員および出願資格・要件	4
3-2.	指導を希望する教員との事前相談	6
4.	長期履修	7
5.	納入金	8
6.	入学試験	9
7.	出願書類および手続	11
8.	合格発表	14
9.	入学手続	15
10.	出願場所および試験場案内	16
11.	医療技術学研究科指導教員	18

個人情報の取扱いについて

出願においてお知らせいただいた個人情報（氏名・住所等）は本学におきまして入学案内、入学試験に関する業務を行うために利用します。この業務の一部は、本学より当該業務の一部を委託した業者（以下、「受託業者」という）にて行います。業務委託に際し、個人情報の保護に関する契約を締結した受託業者に、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。詳細につきましては、本学ホームページにてご確認ください。

安全保障輸出管理について

帝京大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「帝京大学 安全保障輸出管理規程」を定め、物品の輸出、技術の提供、人材の交流に関して必要な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育を受けられない場合がありますので、入学願書の提出の前に指導希望教員と相談するなど、出願にあたっては注意してください。なお、入学時に「外国為替及び外国貿易法」を遵守する旨の誓約書に署名していただきます。

1. 専攻・課程・キャンパス

専攻	博士前期課程	修士課程	博士後期課程	キャンパス
視能矯正学専攻	○	—	○	板橋
看護学専攻	○	—	○	板橋
診療放射線学専攻 診療放射線コース 医学物理士コース	○	—	○	板橋
臨床検査学専攻	○	—	○	板橋
救急救護学専攻	—	○	—	板橋
スポーツ健康科学専攻	—	○	—	八王子
柔道整復学専攻	—	○	—	宇都宮

出願から入学までの流れ

1. アドミッション・ポリシー、出願資格・要件の確認

アドミッション・ポリシーおよび志望する専攻・課程の出願資格・要件を確認してください。なお、出願資格によっては、出願手続き前に入学資格審査を受ける必要があります。

2. 募集人員、納入金、入試日程の確認

志望する専攻・課程・コースの募集人員、納入金、入試日程を確認してください。

3. 指導を希望する教員との事前相談

志望する分野を検討し、指導を希望する教員を選び、出願前に必ず事前相談を受けてください。

4. 出願手続

入学検定料を納入し、出願書類を提出してください。※出願締切日必着

5. 入学試験

受験票は当日会場でお渡しします。身分を証明できるものをご持参ください。

6. 合否発表および入学手続

Webによる合否照会システムを利用することができます(合格発表日11時～合格発表日6日後22時に限る)。

合格者には「入学許可書」と「入学手続要項」を郵送いたします。

納入金は、合格発表日から入学手続締切日までに本学へ着金するように振り込んでください。

7. 入学

2. アドミッション・ポリシー

医療技術学研究科は、現代の高度なチーム医療の担い手として、視能矯正学、看護学、診療放射線学、臨床検査学、救急救護学、スポーツ健康科学、柔道整復学の各医療分野における優れた専門知識・技能・態度を有し、かつ教育・研究を自立して推進できる人材の育成を目指しています。

学部等における各医療分野の総合教育や専門的な学修を通じて、次のような資質を備えた入学者を求めています。

1. いたわりの心を有し倫理の重要性を認識している。
2. コミュニケーション能力に優れている。
3. 現代のチーム医療を担える基本的な知識・技能・態度を有している。
4. 医療分野における教育と問題解決への強い意欲を有している。

3-1. 募集人員および出願資格・要件

【博士前期課程・修士課程】（修業年限2年）

1. 募集人員

課 程	専 攻	募集人員	課 程	専 攻	募集人員
博士前期	視能矯正学	10名	修 士	救急救護学	5名
	看護学	10名		スポーツ健康科学	15名
	診療放射線学 診療放射線コース、医学物理士コース	10名		柔道整復学	6名
	臨床検査学	10名			

2. 出願資格・要件

【出願資格】

次の各号のいずれかに該当する者、または次の各号のいずれかについて2024年3月31日までに該当する見込みの者 ※1

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることとその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 本研究科の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者 ※2

※(7)に該当し、出願しようとする者については、事前に個別入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願が認められます。希望する者は、本学ホームページを参照してください。

<https://www.teikyo-u.ac.jp/applicants/individual>

【出願要件】（スポーツ健康科学専攻は除く）

※1(1)～(7)の出願資格に加え、出願する専攻に該当する下表の免許（以下、「免許」という）を有する者、または2024年4月入学時に取得見込みである者。ただし、診療放射線学専攻医学物理士コースおよび臨床検査学専攻においては、免許を有さない者であっても、指導を希望する教員との事前相談で適性が認められた場合は出願できる。

専 攻	免 許	専 攻	免 許
視能矯正学	視能訓練士	臨床検査学	臨床検査技師
看護学	看護師・保健師・助産師のいずれか	救急救護学	救急救命士
診療放射線学	診療放射線技師	柔道整復学	柔道整復師

※2 短期大学または専門学校等を卒業し、免許を有する者で、出願資格(7)にて出願しようとする者は、3年以上の臨床経験または実務経験を有することが望ましい(2024年3月までに3年に達する見込みの者を含む)。

【注意事項】

- 1) 出願に際しては、出願資格に関わらず指導を希望する教員との事前相談が必要です(P6「3-2. 指導を希望する教員との事前相談」参照)。
- 2) 卒業、修了、学位授与が見込みでの出願者については、2024年4月入学時までに出願資格を得られなかった場合は、入学許可を取消し、入学金を除く納入済みの金額を返還いたします。
- 3) 視能矯正学・看護学・診療放射線学(診療放射線コース)・救急救護学・柔道整復学専攻の免許取得見込みの出願者については、2024年4月入学時までには免許を得られなかった場合は、2)に準じます。

【社会人の方へ】

入学後も引き続き勤務を続ける方等に対し、教育上特別措置の必要があると認められた場合には、夜間その他特定の時間または時期において、授業または研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことがあります。また、標準修業年限を超えての計画的な履修(長期履修)を許可することがあります(P.7「4. 長期履修」参照)。「3-2. 指導を希望する教員との事前相談」の際に十分にお打ち合わせください。

【博士後期課程】（修業年限3年）

1. 募集人員

専攻	募集人員	専攻	募集人員
視能矯正学	4名	診療放射線学 診療放射線コース、医学物理士コース	2名
看護学	4名	臨床検査学	2名

2. 出願資格・要件

【出願資格】

次の各号のいずれかに該当する者、または次の各号のいずれかについて2024年3月31日までに該当する見込みの者 ※1

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 本研究科の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、修士の学位または専門職学位を有する者と同以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者 ※1

※(5)に該当し、出願しようとする者については、事前に個別入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願が認められます。希望する者は、本学ホームページを参照してください。

<https://www.teikyo-u.ac.jp/applicants/individual>

【出願要件】

※1(1)～(5)の出願資格に加え、出願する専攻に該当する下表の免許（以下、「免許」という）を有する者、または2024年4月入学時に取得見込みである者。ただし、診療放射線学専攻医学物理士コースおよび臨床検査学専攻においては、免許を有さない者であっても、指導を希望する教員との事前相談で適性が認められた場合は出願できる。

専攻	免許	専攻	免許
視能矯正学	視能訓練士	診療放射線学	診療放射線技師
看護学	看護師・保健師・助産師のいずれか	臨床検査学	臨床検査技師

※2 大学等を卒業し、免許を有する者で、出願資格(5)にて出願しようとする者は、5年以上の臨床経験または実務経験を有することが望ましい（2024年3月までに5年に達する見込みの者を含む）。

【注意事項】

- 1) 出願に際しては、出願資格に関わらず指導を希望する教員との事前相談が必要です（P.6「3-2. 指導を希望する教員との事前相談」参照）。
- 2) 学位授与が見込みでの出願者については、2024年4月入学時までに出願資格を得られなかった場合は、入学許可を取消し、入学金を除く納入済みの金額を返還いたします。
- 3) 視能矯正学・看護学専攻・診療放射線学（診療放射線コース）の免許取得見込みでの出願者については、2024年4月入学時までには免許を得られなかった場合は、2)に準じます。

【社会人の方へ】

入学後も引き続き勤務を続ける方等に対し、教育上特別措置の必要があると認められた場合には、夜間その他特定の時間または時期において、授業または研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことがあります。また、標準修業年限を超えての計画的な履修（長期履修）を許可することがあります（P.7「4. 長期履修」参照）。「3-2. 指導を希望する教員との事前相談」の際に十分にお打ち合わせください。

3-2. 指導を希望する教員との事前相談

出願を希望する方は、学外出身・学内出身（在学中も含む）を問わず、出願に先立ち必ず希望分野の指導教員と入学後の研究・教育について相談が必要です。P.18～P.36「医療技術学研究科指導教員」を参照し、指導を希望する教員が決まりましたら、各専攻の出願先（P.13 参照：板橋キャンパス事務部教務課／八王子キャンパス本部入試室 入試企画室／宇都宮キャンパス学生サポートチーム）までメールにてお申し込みください。

1. 事前相談該当者

医療技術学研究科に出願を希望する方は、学外出身・学内出身（在学中も含む）を問わず、全員事前相談を受けてください。

2. 指導を希望する教員

P.18～P.36「医療技術学研究科指導教員」を参照してください。

3. 期間

余裕を持って、出願開始の1か月前までに事前相談を受けてください。

4. 申込方法

各専攻の出願先（P.13 参照：板橋キャンパス事務部教務課／八王子キャンパス本部入試室 入試企画室／宇都宮キャンパス学生サポートチーム）に、以下の必要事項を明記の上、メールにて申し込んでください。

メールタイトル：「医療技術学研究科 事前相談希望」

- ①氏名（カナ） ②志望専攻科・課程 ③志望する分野 ④指導を希望する教員名
- ⑤連絡先（電話番号、メールアドレス）

5. 提出書類

特に必要ありません。ただし、専攻より提出を求められる場合もありますので、その場合は別途必要書類をご連絡いたします。

4. 長期履修

長期履修とは、社会人等に配慮し、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することです。

1. 修業年限（カッコ内は在学年限）

博士前期課程・修士課程：3年（4年）

博士後期課程：4年（6年）

2. 学費

標準修業年限の総額を長期履修許可年限で除した額を1年間の学費とします。別途、年数分の保険料が必要です。

3. 申請時期および履修期間の変更

長期履修を希望する方は、出願時に申請をしてください。入学後の申請はできません。

なお、長期履修期間の変更は1回限り、1年間の短縮が可能です。

4. 申請方法

「長期履修申請書」に必要事項を記入してください。「申請理由」欄には長期履修を希望する具体的な理由を明記してください。また、「指導を希望する教員との事前相談」の際に、十分お打ち合わせの上、指導予定教員の意見ならびに承認印を得てください。「長期履修申請書」は出願時に提出してください。

※詳細は各専攻出願先（P.13）にお問い合わせください。

5. 納 入 金

2024年度の入学に必要な諸費用は以下のとおりです。入学時納入金の振込期限は入学時締切日（P.9「6. 入学試験」の日程参照）です。入学時締切日の延期等は一切できません。

（単位：円）

	博士前期課程・修士課程		博士後期課程	
	学外出身者	学内出身者*1	学外出身者	学内出身者*1
入学時納入金	727,120	627,120	728,540	628,540
入学金（入学時のみ）	306,000	206,000	306,000	206,000
授業料実験実習費（半期）	311,100	311,100	311,100	311,100
施設拡充費（半期）	107,100	107,100	107,100	107,100
保険料（入学時のみ）*3	2,920	2,920	4,340	4,340
後期納入金 （授業料実験実習費、施設拡充費）	418,200	418,200	418,200	418,200
初年度納入金	1,145,320	1,045,320	1,146,740	1,046,740

ただし、長期履修生(*2)の初年度納入金は以下のとおり

（単位：円）

	博士前期課程・修士課程		博士後期課程	
	学外出身者	学内出身者*1	学外出身者	学内出身者*1
入学時納入金	587,720	487,720	625,940	525,940
入学金（入学時のみ）	306,000	206,000	306,000	206,000
授業料実験実習費（半期）	207,400	207,400	234,300	234,300
施設拡充費（半期）	71,400	71,400	81,300	81,300
保険料（入学時のみ）*3	2,920	2,920	4,340	4,340
後期納入金 （授業料実験実習費、施設拡充費）	278,800	278,800	315,600	315,600
初年度納入金	866,520	766,520	941,540	841,540

長期履修生(*2) 2年目以降の納入金（授業料実験実習費および施設拡充費）＜参考＞

	博士前期課程・修士課程	博士後期課程
2年目納入金額合計	557,600	626,000
3年目納入金額合計	557,600	626,000
4年目納入金額合計		626,000

*1 学内出身者： 本学卒業生および帝京大学グループ校卒業生（帝京平成大学、帝京科学大学、帝京短期大学、帝京大学短期大学、帝京学園短期大学、帝京平成看護短期大学、帝京高等看護学院、帝京福祉専門学校、帝京山梨看護専門学校、帝京マレーシア日本語学院、ユニタス日本語学校、帝京平成大学附属日本語学校、千駄ヶ谷日本語教育研究所）

*2 長期履修生： 標準修業年限の総額を長期履修許可年限で除いた額を1年間の学費とします。（最終年次は上記金額に加え、別途保険料(*3)「1,600円」（年額）がかかります。）

*3 保 険 料： 学生教育研究災害傷害保険・付帯賠償責任保険・こども総合保険
保険料は変更になる場合があります。

6. 入学試験

1. 日程

時期区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切日
I期(修士) 第1回(博士)	2023年10月23日(月)～ 2023年11月2日(木)	2023年 11月18日(土)	2023年 12月1日(金)	2023年 12月11日(月)
II期(修士) 第2回(博士)	2024年2月13日(火)～ 2024年2月21日(水)	2024年 3月9日(土) ^{*1}	2024年 3月14日(木)	2024年 3月21日(木)

*1 柔道整復師の国家試験日により、柔道整復学専攻の入学試験日が変更になる可能性があります。

2. 試験場

専攻	試験場	注意事項
視能矯正学 看護学 診療放射線学 臨床検査学 救急救護学	帝京大学板橋キャンパス 〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1	指定されたキャンパスの試験室にて試験を行います。 試験室は、当日試験場に掲示しますので、確認の上、9:15までに入室してください。ただし、8:45までは入室できません。
スポーツ健康科学	帝京大学八王子キャンパス 〒192-0395 東京都八王子市大塚 359	
柔道整復学	帝京大学宇都宮キャンパス 〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台 1-1	

3. 選抜方法（時間割および試験の内容）

入学者の選抜は、筆記試験（専門分野および外国語（英語））、口述試験、研究計画書等の総合判定とする。

時間	試験内容
8:45～9:15	試験室入室時刻 ※9:15までに着席のこと。ただし、8:45までは入室できません。
9:20～9:30	受験上の注意
9:30～11:00	筆記試験〔専門分野および外国語（英語）〕※辞書持ち込み可
11:10～	口述試験

※筆記試験に持ち込むことができる辞書は、英和辞書および医学用語に関する英和辞書とする。ただし、電子式の辞書は、持ち込み不可。

※スポーツ健康科学専攻の筆記試験については、医学的な知識を含む。

4. 受験上の注意

- ① 受験票は、当日試験室でお渡しします。身分を証明できるものを持参してください。
- ② 試験中は監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は失格となります。
- ③ 不正行為者には退室を命じ、失格とします。
- ④ 試験場および試験室において、他の受験生に迷惑となるような行為を禁止します。
- ⑤ 受験票は試験室の外に出る際には、必ず携帯してください。
- ⑥ 試験に必要なものは、かばん等に入れて椅子の下に置いてください。
- ⑦ 机上に置けるものは受験票・鉛筆（和歌・格言等が印刷されているものは不可）・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り（電動式を除く）・時計（計時機能だけのもの）・眼鏡です。これ以外の所持品を置くことは認めません。アラームや時報機能のついた時計は、試験室に入る前に必ず設定を解除してください。
- ⑧ 筆記用具・腕時計等の貸借は一切禁止します。忘れずに持参してください。

- ⑨ 定規・コンパス・計算機等の補助具や電子辞書・携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・ICレコーダー・イヤホン等の電子機器類は使用できません。試験時間中にこれらを使用（机上に置く等）したり、身につけていることが発覚した場合、失格となります。
- ⑩ 携帯電話等の電子機器類は必ずアラームを解除し、電源を切ってかばん等に入れてください。これらを時計として使用することはできません。なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話等の電子機器類の着信音やマナーモードの振動音が発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験本部で保管する場合があります。
- ⑪ 口述試験中および口述試験控室等での待機時間においても携帯電話等の電子機器類は使用できません。携帯電話等の電子機器類は、電源を切ってかばん等に入れてください。これらの使用が発覚した場合は、失格となることもあります。
- ⑫ ハンカチ・ティッシュペーパー・ひざかけ・目薬等の使用を希望する者は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。
- ⑬ 「耳せん」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
- ⑭ 試験時間内の答案提出、退出は認めません。試験中の発病等やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。ただし、一時退室が認められた場合でも試験室以外での受験はできません。また、一時退室した場合の試験時間の延長は認めません。
- ⑮ 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打合せなど、自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、時計や携帯電話等の電子機器類の短時間の鳴動、照明の点滅、周囲の建物のチャイム音・周囲の工事音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。
- ⑯ 口述試験の開始時刻は変更となることがありますので、当日の掲示または監督者の指示に従ってください。
- ⑰ 試験終了後、忘れ物がないか確認してから退室してください。
- ⑱ 受験票は合否の確認の際に必要となりますので、必ず持ち帰り、大切に保管してください。
- ⑲ 試験室はすべて禁煙です。

5. 遅刻の取扱い

試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。但し、試験時間の延長は認めません。試験当日、天候不良や事故・地震等により公共の交通機関に乱れが生じている場合でも、試験場に向かってください。（その日のうちに必ず入学試験が行われるものと理解してください）。なお、大幅な遅延が予想される場合（試験開始時刻より30分以上遅れそうな場合）は、出願先（P.13）に記載されている電話番号に連絡して指示を受けてください。主要公共交通機関（バス・車の渋滞等は除く）の乱れにより、多数の受験生が試験開始時刻に間に合わないとは本学が判断した場合のみ、試験開始時刻を遅らせることがあります。

6. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水ぼうそう、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し、治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認められた場合は、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置および入学検定料の返還は行いません。試験当日までの体調管理については、十分に注意してください。

合格通知の勧誘にご注意ください

入学試験前日や当日、本学関係者を装い、駅前および路上での合格通知の電話・メール配信等の強制的な勧誘や、印刷物を配布している場合もありますが、本学とは一切関係ありません。したがって事故が生じた場合でも、本学は一切責任を負いませんので十分に注意してください。

7. 出願書類および手続

1. 出願書類【博士前期課程・修士課程】

①入学願書	所定の様式 (Excel)。カラー写真は、入学願書および保管票に貼付。写真データでの挿入も可。縁なしで縦 4cm × 横 3cm (正面上半身・無帽・無背景のもので出願前 3 か月以内に撮影したもの)。裏面に専攻・課程・氏名を記入すること。
②受験票・保管票	
③成績証明書	最終学歴校の学校長等が作成したもの。 (2023 年 4 月 1 日以降に発行されたもの) ※最終学歴校以外に、出願する専攻に関連する学校を卒業している場合は、その成績証明書も提出すること。
④卒業 (見込) 証明書	最終学歴校の学校長等が作成したもの。 (2023 年 4 月 1 日以降に発行されたもの) ※最終学歴校以外に、出願する専攻に関連する学校を卒業している場合は、その卒業証明書も提出すること。
⑤学位取得 (見込) 証明書	出願資格 (2) に該当する場合。 ※授与される見込の者については、授与後速やかに提出すること。
⑥国家資格免許証の写し	出願希望専攻に該当する国家資格免許証の写し (コピー)。 (取得見込者は、取得後写しを郵送) ※看護学専攻においては、看護師、保健師、助産師の免許のうち有する免許すべての写し (コピー) を提出すること。 ※診療放射線学専攻医学物理士コースおよび臨床検査学専攻においては、免許を有する場合のみ提出すること。
⑦資格・免許の写し (スポーツ健康科学専攻のみ)	教員免許状、アスレティックトレーナー、健康運動指導士、健康運動実践指導者等の写し (コピー)。 ※教員免許状をすでに取得済みの者はすべての教員免許状の写し、または教員免許状授与証明書を必ず提出してください。
⑧志望理由書	所定の様式 (Excel)。
⑨研究計画書	所定の様式 (Word)。希望教育・研究領域等を記入すること。
⑩業績一覧表	所定の様式 (Excel)。学会発表、学術論文、著書等がある場合、これまでの業績を記入し、業績を持たない場合は「なし」と記入すること。
⑪受験承諾書	所定の様式 (Excel) (在職者であり、入学後も在職する予定である場合のみ)。
⑫長期履修申請書	所定の様式 (Excel) (長期履修希望者のみ)。

※ ①、②、⑧、⑨、⑩、⑪、⑫については作成後、A4 サイズの白紙に印刷してください。

※ 入学資格審査を受けた方は、書類 (③、④、⑥、⑦、⑩) の再提出は不要です (内容に変更がない場合に限り)。

※ 2024 年度入試を再受験する場合は、(③、④、⑤、⑥、⑦、⑩、⑪、⑫) の再提出は不要です (内容に変更がない場合に限り)。

※ 専攻名および課程については P.4 を参照し、正確に記入してください。ただし、診療放射線学専攻のコース名は記入不要です。

※ 証明書と志願者の氏名の表記が異なる場合は、本人であることを証明する書類 (戸籍個人事項証明書) を提出してください。

※ 外国語で作成されている書類には、必ず公的機関等発行の日本語の翻訳を添付してください。

※ 外国人留学生は日本語能力を証明する書類を提出してください (詳細はお問合せください)。

※ 記入内容を訂正する場合は、修正テープ等は使用せず訂正箇所には二重線を引き訂正印を押してください。

【博士後期課程】

①入学願書	所定の様式 (Excel)。カラー写真は、入学願書および保管票に貼付。写真データでの挿入も可。縁なしで縦 4cm × 横 3cm (正面上半身・無帽・無背景のもので出願前 3 か月以内に撮影したもの)。裏面に専攻・課程・氏名を記入すること。
②受験票・保管票	
③成績証明書	出身大学 (学部・研究科) 長等が作成したもの。 (2023 年 4 月 1 日以降に発行されたもの) ※出願する専攻に関連する学校を卒業・修了している場合は、その成績証明書もすべて提出すること。
④修了 (見込) 証明書 または学位取得 (見込) 証明書	出身大学 (研究科) 長等が作成したもので学位の記載があるもの。 (2023 年 4 月 1 日以降に発行されたもの) ※授与される見込の者については、授与後速やかに提出すること。
⑤卒業証明書	出願する専攻に関連する学校を卒業している場合のみ。 出身大学 (学部) 長等が作成したもの。 (2023 年 4 月 1 日以降に発行されたもの)
⑥国家資格免許証の写し	出願希望専攻に該当する国家資格免許証の写し (コピー)。 (取得見込者は、取得後写しを郵送) ※看護学専攻においては、看護師、保健師、助産師の免許のうち有する免許すべての写し (コピー) を提出すること。 ※診療放射線学専攻医学物理士コースおよび臨床検査学専攻においては、免許を有する場合のみ提出すること。
⑦志望理由書	所定の様式 (Excel)。
⑧修士論文	(1) 出身大学院に提出した修士論文 1 部 (コピー可) を提出すること。 (2) 出身大学院で修士論文の提出を求められなかった者、および修士の学位を有しない者は「⑩業績一覧表」を提出すること。
⑨研究計画書	所定の様式 (Word)。希望教育・研究領域等を記入すること。
⑩業績一覧表	所定の様式 (Excel)。学会発表、学術論文、著書等がある場合、これまでの業績を記入し、業績を持たない場合は「なし」と記入すること。
⑪受験承諾書	所定の様式 (Excel) (在職者であり、入学後も在職する予定である場合のみ)。
⑫長期履修申請書	所定の様式 (Excel) (長期履修希望者のみ)。

※ ①、②、⑦、⑨、⑩、⑪、⑫については作成後、A4 サイズの白紙に印刷してください。

※ 入学資格審査を受けた方は、書類 (③、⑤、⑥、⑩) の再提出は不要です (内容に変更がない場合に限る)。

※ 2024 年度入試を再受験する場合は、(③、④、⑤、⑥、⑧、⑩、⑪、⑫) の再提出は不要です (内容に変更がない場合に限る)。

※ 専攻名および課程については P.5 を参照し、正確に記入してください。ただし、診療放射線学専攻のコース名は記入不要です。

※ 証明書と志願者の氏名の表記が異なる場合は、本人であることを証明する書類 (戸籍個人事項証明書) を提出してください。

※ 外国語で作成されている書類には、必ず公的機関等発行の日本語の翻訳を添付してください。

※ 外国人留学生は日本語能力を証明する書類を提出してください (詳細はお問合せください)。

※ 記入内容を訂正する場合は、修正テープ等は使用せず訂正箇所には二重線を引き訂正印を押してください。

2. 入学検定料

35,000円 納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

3. 入学検定料の納入方法

入学検定料決済ガイダンスからお支払いください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/pay-teikyo-u/>

- ・支払いの前に、事前申し込みが必要です。上記URLより「入学検定料決済ガイダンス」サイトにアクセスし、支払いに必要な所定の情報を入力してください。なお、入力時に「整理番号」を入力する必要があります。「整理番号」は【12345678】と8桁の数字を入力してください。
- ・情報を入力後、支払い方法を選択し、選択した支払い機関で支払ってください（入学検定料の他に、一件につき1,100円のサービス利用料がかかります）。
- ・入学検定料の納入が確認でき次第、入金確認メールを送信します。入金確認メールに記載のURLから「入学検定料決済ガイダンス」サイトにアクセスし、「収納証明」を印刷し、保管票の所定欄に貼付してください（メールが届かない場合、上記URLからアクセスしてください）。



《取扱期間》出願開始日の1週間前から出願締切当日の16時30分まで

4. 出願方法

①郵送する場合（締切日必着）

- ・巻末の「宛名シート」をA4サイズで印刷の上、必要事項を記入し、各自が用意した封筒（角2号）に貼りつけて、出願書類一式を封入し、必ず郵便局より「書留」にて郵送してください。
- ・郵便局が発行する「書留・特定記録郵便物等受領証」は大切に保管してください。
- ・出願書類は締切日必着です。締切日の消印有効ではありません。

②大学窓口に持参する場合

- ・巻末の「宛名シート」をA4サイズで印刷の上、必要事項を記入し、各自が用意した封筒（角2号）に貼りつけて、出願書類一式を封入し、持参してください。

5. 出願先

■視能矯正学専攻 ■看護学専攻 ■診療放射線学専攻 ■臨床検査学専攻 ■救急救護学専攻

帝京大学板橋キャンパス事務部教務課大学院係 医療技術学研究所担当

〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1

電話：03-3964-7051（直通）

メール：gaku@teikyo-u.ac.jp

■スポーツ健康科学専攻

帝京大学 八王子キャンパス 本部入試室 入試企画室

〒192-0395 東京都八王子市大塚 359

電話：042-678-3317

メール：t-nyushi@main.teikyo-u.ac.jp

■柔道整復学専攻

帝京大学宇都宮キャンパス 学生サポートチーム 医療技術学研究所担当

〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台 1-1

電話：028-627-7123

メール：gakusei@riko.teikyo-u.ac.jp

◎受付時間 【平日】8:45～16:45 【土曜日】8:45～12:00

- ・指定された出願期間以外の出願はできません。
- ・祝日、年末年始（12/29～1/3）および大学（学部）入学試験日の事務取り扱いはいたしません。
- ・大学行事等で入校が制限される場合もあるため、窓口を持参するときは事前に電話で確認してください。
- ・メールによる連絡は、指導を希望する教員との事前相談申し込みのみ受け付けます。

6. 受験票

受験票は、当日試験室でお渡しします。身分を証明できるものを持参してください。

7. 出願の注意事項

- ・ 出願書類に不備がある場合は、受理いたしません。
- ・ 提出された出願書類および入学検定料は、返還いたしません。
- ・ 出願後は、いかなる理由があっても書類の変更は認めません。
- ・ 入学決定後でも、提出書類の記載に事実と相違する内容が発見された場合には、入学許可を取り消すことがあります。

受験および修学上の特別配慮について

身体機能の障害や疾病・疾患等により、受験および修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち（遅くとも出願締切日の2週間前まで）、各専攻の出願先まで申し出てください。本学の対応が決定後、出願していただきます。要望に対応できない場合もありますので、予めご了承ください。

また、不慮の事故等により、出願後に特別な配慮が必要となった場合も速やかに連絡してください。

8. 合格発表

1. 郵送による通知

合格者には合格発表当日、入学願書に記入させた現住所に志願者本人宛で、入学許可書および入学手続きに必要な書類を速達で郵送します。発送から到着までに数日を要する場合がありますのでご了承ください。なお、不合格者への通知は行いません。

2. Webによる合否照会システム

合格発表当日の11時から合格発表日6日後の22時に限り、Webによる合否結果の照会サービスを利用することができます。

なお、以下の利用可能期間以外は合否照会できません。

必ず利用可能期間内に合否照会 URL より合否を確認してください。



合否照会URL (Webアドレス)

<https://www.gouhi.com/teikyo/>



利用可能期間

合格発表日 11:00 ~ 合格発表日 6日後 22:00



注意点

- ①操作方法については画面の指示に従って操作してください。
- ②利用の際には「受験番号（7桁）」、「誕生日（4桁）」が必要となります。
- ③合否結果や受験番号、誕生日等に関する問い合わせには、一切応じられません。また、パソコンや携帯電話等の設定などについての問い合わせにも応じられません。
- ④確認忘れ等があっても、利用可能期間以外に合否照会はできません。
※システムの誤操作、入力ミス、確認ミス等を理由とした、入学手続き締切日を過ぎてからの入学手続きは一切認めません。

9. 入学手続

1. 手続方法

- ① 合格者には、入学許可書と一緒に「入学手続要項」を送付します。入学手続は「入学手続要項」に沿って行ってください。本入学試験要項に記載された事柄と「入学手続要項」との間に、変更による相違が生じる場合は本入学試験要項の記載にかかわらず、「入学手続要項」に記載された事柄により入学手続を行ってください。
- ② 納入金は**本学所定の振込依頼書**を使用し、志願者本人の名前にて金融機関の窓口から振り込んでください。**ATM、携帯電話、パソコン等からの振り込みはできません。**
ゆうちょ銀行から納入金を振り込む場合、現金による振り込みはできません。ゆうちょ銀行口座の「通帳と届出印」または「キャッシュカード」が必要です。詳細につきましては、ゆうちょ銀行または郵便局にお問い合わせください。
※本人確認手続に関する法令により、金融機関において10万円を超える現金による振り込みをされる場合には、本人確認書類（運転免許証、健康保険証等）の提示が必要となります。詳しくは振り込みを依頼する金融機関にお問い合わせください。
- ③ 納入金は、合格発表日から入学手続締切日までに本学へ着金するように振り込んでください。（金融機関の取り扱いにより、送金が翌日扱いになる場合がありますので、ご注意ください。着金日等の詳細については各金融機関にお問い合わせください。）入学手続締切日までに振込手続（本学への着金）を完了しない場合は入学の意思がないものとみなし、入学許可を取り消します。なお、入学手続締切日の延期等は一切できません。
- ④ 入学手続に必要な提出書類については、「入学手続要項」に従って指定の期限内に提出してください。
※入学手続完了後でも、入学資格がないことが判明した場合には、入学許可を取り消します。その場合、納入金のうち入学金を除く金額を返還します。
- ⑤ 卒業（修了）見込者は卒業（修了）証明書を**2024年3月30日（土）**までに提出してください。ただし、本学医療技術学部卒業生については提出不要です。
- ⑥ 2024年4月に免許取得見込の出願者については、免許証が届き次第、写し（コピー）を提出してください。

2. 入学辞退

- ① 納入金の手続き完了後に、入学辞退を希望し、**2024年3月31日（日）12:00**までに申し出た場合には入学金を除く金額を返還します。
- ② 入学辞退の手続についての詳細は、入学案内書類に同封の「入学手続要項」を参照してください。

【連絡先】 帝京大学入試センター 入学辞退受付専用ダイヤル：03-3962-9609

【受付時間】 月曜～金曜 8:30～16:00 土曜 8:30～11:00

2024年3月31日（日）8:30～12:00

* 祝日・年末年始（12/29～1/3）除く

10. 出願場所および試験場案内

■視能矯正学専攻 ■看護学専攻 ■診療放射線学専攻 ■臨床検査学専攻 ■救急救護学専攻

【出願場所】 帝京大学板橋キャンパス事務部教務課（大学棟本館2階）

【試験場】 帝京大学板橋試験場（帝京大学板橋キャンパス大学棟本館）

※公共の交通機関をご利用ください。



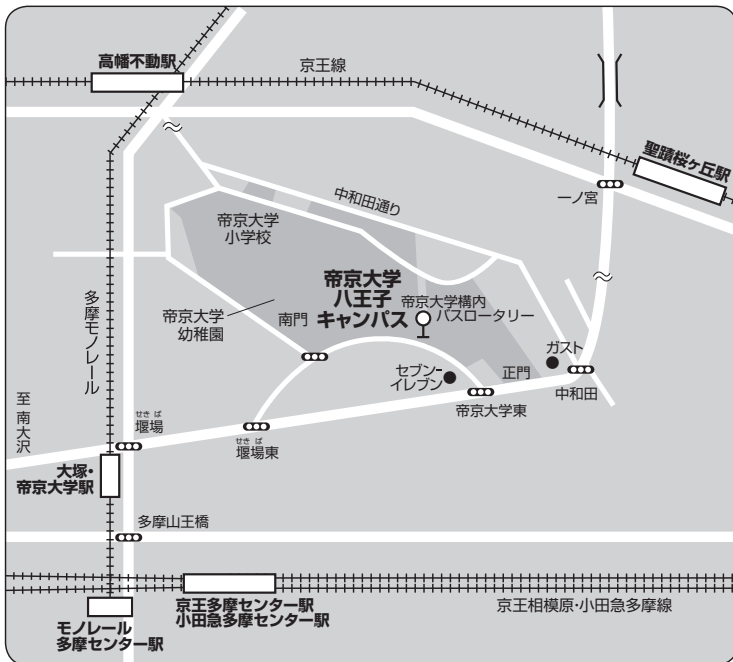
- JR 埼京線
「十条駅」北口より徒歩 10 分
- 地下鉄都営三田線
「板橋本町駅」A1 出口より徒歩 13 分
- 国際興業バス
王子駅 ↔ 板橋駅
「帝京大学病院前」下車
赤羽駅西口 ↔ 王子駅
「上十条4丁目」下車徒歩 3 分
赤羽駅東口 ↔ 高円寺駅
「姥ヶ橋」下車徒歩 5 分
王子駅 ↔ 上板橋駅
「姥ヶ橋」下車徒歩 5 分
- 都営バス
王子駅 ↔ 新宿駅西口
「姥ヶ橋」下車徒歩 5 分

■スポーツ健康科学専攻

【出願場所】 帝京大学八王子キャンパス本部入試室 入試企画室

【試験場】 帝京大学八王子試験場（帝京大学八王子キャンパス）

※公共の交通機関をご利用ください。



<所在地>

〒192-0395

東京都八王子市大塚359番地

TEL : (0120) 0120-508-739

○京王線 聖蹟桜ヶ丘駅

○京王バス 2 番のりば「帝京大学構内」行きに乗車
(直行15分、各停17分)、終点「帝京大学構内」下車

○京王線 高幡不動駅

○京王バス 5 番のりば「帝京大学構内」行きに乗車
(直行11分、各停13分)、終点「帝京大学構内」下車

○京王相模原線 京王多摩センター駅

○小田急多摩線 小田急多摩センター駅

○多摩モノレール 多摩センター駅

○京王バス 4 番のりば「帝京大学構内」行きに乗車
(直行14分、各停18分)、終点「帝京大学構内」下車

○多摩モノレール 大塚・帝京大学駅

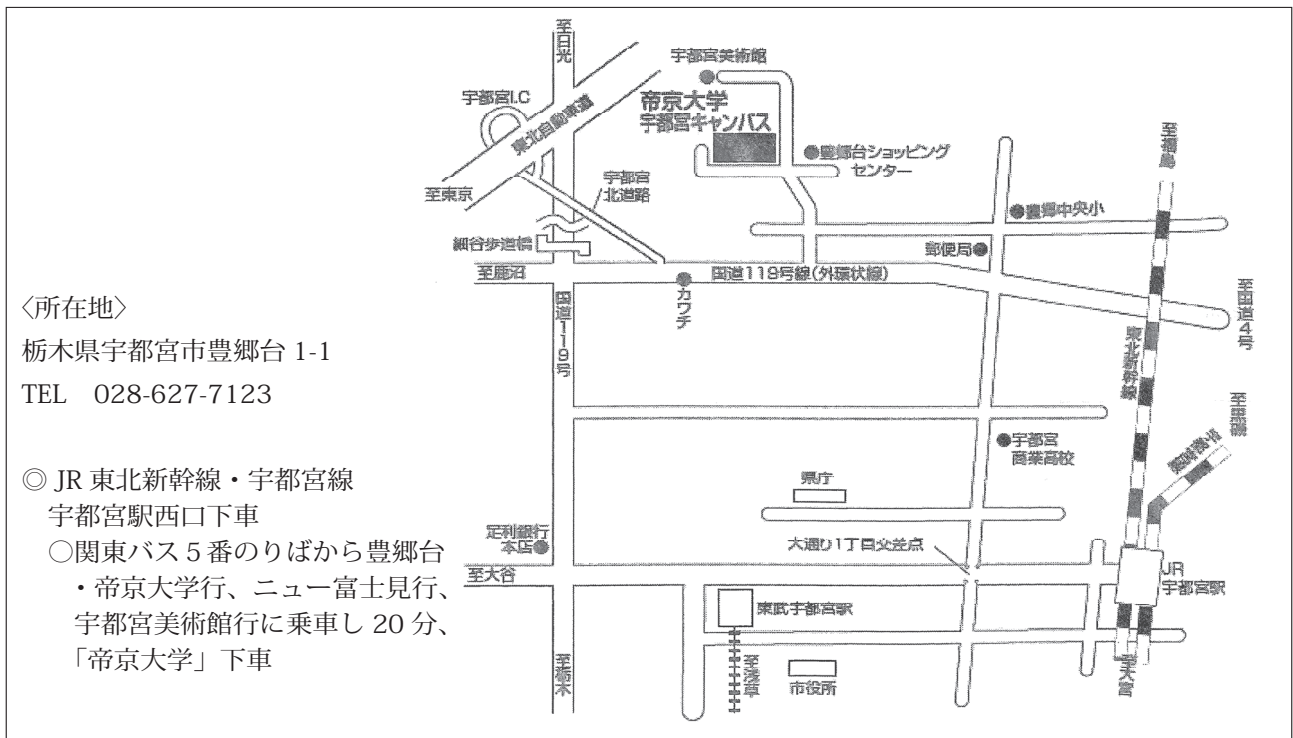
○徒歩約15分

■柔道整復学専攻

【出願場所】 帝京大学宇都宮キャンパス大学院入試担当学生サポートチーム

【試験場】 帝京大学宇都宮試験場（帝京大学宇都宮キャンパス）

※公共の交通機関をご利用ください。



11. 医療技術学研究科指導教員

2023年5月現在

視能矯正学専攻 博士前期課程

科目区分	授業科目名	指導教員および担当教員		
科目共通	研究倫理	教授	石川ひろの (公衆衛生学研究科) 他	
	両眼視機能診断学講義 両眼視機能診断学演習	教授	臼井千恵	
専門科目	両眼視機能治療学講義	教授 講師	松岡久美子 佐々木翔	
	両眼視機能治療学演習	教授	松岡久美子	
	眼筋機能病理学講義 眼筋機能病理学演習	教授 講師	林孝雄 広田雅和	
	眼筋機能回復学講義 眼筋機能回復学演習	教授	林孝雄	
	視覚機能検査学講義 視覚機能検査学演習	教授 准教授 講師	池田結佳 渡部維和 広田雅和	
	視覚機能訓練学講義 視覚機能訓練学演習	教授 准教授 講師	松岡久美子 林弘美 広田雅和	
	視覚機能病態学Ⅰ講義 視覚機能病態学Ⅰ演習	講師 講師	大鹿京子 広田雅和	
	視覚機能病態学Ⅱ講義 視覚機能病態学Ⅱ演習	教授	三橋俊文	
	視能矯正学特別研究		教授	林孝雄
			教授	松岡久美子
		教授	臼井千恵	
		教授	三橋俊文	
		教授	池田結佳	
		准教授	金子博行	
		准教授	林弘美	
		准教授	渡部維和	
		講師	大鹿京子	
		講師	佐々木翔	
	講師	広田雅和		
	講師	中込亮太		
	講師	加藤可奈子		

視能矯正学専攻 博士後期課程

科目区分	授業科目名	指導教員および担当教員
専門科目	両眼視機能学特論	教授 白井千恵 講師 広田雅和
	眼筋機能学特論	教授 林孝雄 講師 広田雅和
	視覚機能学特論	教授 松岡久美子 准教授 林弘美 准教授 渡部維和 講師 広田雅和
	視覚機能病態学特論	教授 三橋俊文 講師 大鹿京子
	視能矯正学特殊研究	教授 林孝雄 教授 松岡久美子 教授 白井千恵 教授 三橋俊文 教授 池田結佳 准教授 金子博行 准教授 林弘美 准教授 渡部維和 講師 大鹿京子 講師 佐々木翔 講師 広田雅和 講師 中込亮太 講師 加藤可奈子

看護学専攻 博士前期課程

科目区分		授業科目名	指導教員および担当教員
共通科目		研究倫理	教授 石川ひろの (公衆衛生学研究科) 他
		看護教育論	教授 砂見 緩子
		看護管理論	教授 砂見 緩子
		看護理論	教授 寺岡 征太郎
		看護研究	教授 南川 雅子
			教授 林 さとみ
		コンサルテーション論	准教授 石見 和世
		看護倫理	教授 冲永 隆子 (共通教育センター)
		看護政策論	教授 山崎 恭子
		保健統計	教授 宮田 敏 (公衆衛生学研究科)
		フィジカルアセスメント	教授 林 さとみ
		病態生理	教授 関 順彦 (医学部・内科学講座) 他
	臨床薬理学	教授 青山 晃治 (医学部・薬理学講座)	
専門科目	看護学基礎	基礎看護学特講Ⅰ・Ⅱ	教授 新井 直子 教授 砂見 緩子
		基礎看護学演習	
		基礎看護学特別研究	
	看護学成人	成人看護学特講Ⅰ・Ⅱ	教授 南川 雅子 教授 林 さとみ
		成人看護学演習	教授 南川 雅子 教授 林 さとみ 准教授 古屋 洋子
		成人看護学特別研究	
	看護学タイプラックヘルダック	母性看護学特講Ⅰ・Ⅱ	教授 梶原 祥子 教授 梶原 祥子 講師 寺田 由紀子
		母性看護学演習	
		母性看護学特別研究	
	看護学小児	小児看護学特講Ⅰ・Ⅱ	教授 三木 祐子
		小児看護学演習	教授 三木 祐子
		小児看護学特別研究	准教授 石見 和世
	看護学精神	精神看護学特講Ⅰ・Ⅱ	教授 寺岡 征太郎
		精神看護学演習	教授 寺岡 征太郎 講師 伊藤 文子 講師 大河内 敦子
	精神看護学特別研究		
	看護学地域・公衆衛生	地域・公衆衛生看護学特講Ⅰ・Ⅱ	教授 山崎 恭子
		地域・公衆衛生看護学演習	教授 山崎 恭子 准教授 遠藤 寛子
地域・公衆衛生看護学特別研究			
看護学高齢者	高齢者看護学特講Ⅰ・Ⅱ	教授 鈴木 久美子 教授 鈴木 久美子 講師 黒白 恵子	
	高齢者看護学演習		
	高齢者看護学特別研究		
看護学がん	がん看護学特講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ がん看護学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ がん看護学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	教授 南川 雅子	

看護学専攻 博士後期課程

科目区分		授業科目名	指導教員および担当教員			
専 門 科 目	看護学基礎	基礎看護学特論Ⅰ 基礎看護学特論Ⅱ 基礎看護学特殊研究	教 授	新 井	直 子	子 子
	看護学成人	成人看護学特論Ⅰ	教 授	南 川	雅 さ	子 とみ
		成人看護学特論Ⅱ 成人看護学特殊研究	教 授 准 教	南 川 古 屋	雅 さ 洋	子 とみ 子
	看護学 ステップ ・ラ イ ブ ヘル ダ ク 学	母性看護学特論Ⅰ 母性看護学特論Ⅱ	教 授	梶 原	祥 子	子
		母性看護学特殊研究	教 講	梶 寺	原 田	祥 由 紀
	看護学小児	小児看護学特論Ⅰ 小児看護学特論Ⅱ	教 授	三 木	祐 子	子
		小児看護学特殊研究	教 授 准 教	三 石	木 見	祐 和
	看護学精神	精神看護学特論Ⅰ 精神看護学特論Ⅱ	教 授	寺 岡	征 太	郎
		精神看護学特殊研究	教 講 講	寺 伊 大	岡 藤 河	征 文 敦
	看護学 公衆衛生 ・地 域	地域・公衆衛生学特論Ⅰ 地域・公衆衛生学特論Ⅱ	教 授	山 崎	恭 子	子
		地域・公衆衛生学特殊研究	教 授 准 教	山 遠	崎 藤	恭 寛
	看護学高年齢者	高齢者看護学特論Ⅰ 高齢者看護学特論Ⅱ	教 授	鈴 木	久 美	子
		高齢者看護学特殊研究	教 講	鈴 黒	木 白	久 恵

診療放射線学専攻 博士前期課程 診療放射線コース

科目区分	授業科目名	指導教員および担当教員			
共通科目	科学研究・論文技法学	教授	石川ひろの (公衆衛生学研究科)	樹範	之
	放射線科学特論	教授	大谷浩毅	比呂	之
	科学英語特論	教授	小林徳純	博祐	信樹
	医用画像基礎読影学	教授	富大横	沢谷	比呂
	医用画像情報学特論 I	教授	岡本	本沢	孝比呂
	医用機器品質管理学	教授	大岡富齋	谷本	浩孝
	放射線技術学特論 (治療)	教授	大小古	谷林徳純	浩毅
	放射線技術学特論 (核医学 I)	教授	小富古横伊	林沢徳塚東	比呂純記利
	放射線技術学特論 (核医学 II)	教授	小富古横伊	林沢徳塚東	比呂純記利
専門科目	統計科学	教授	古徳純	一	
	物理数学	教授	古徳純	一	
	数値計算	教授	古徳純	一	
	力学特論	教授	小林毅	範	
	量子力学特論	教授	小林毅	範	
	熱力学・統計力学	教授	富沢比呂	之	

科目区分	授業科目名	指導教員および担当教員					
専門科目	放射線物理学特論	教	授	小	林	毅	範
	電磁気学	教	授	小	林	毅	範
	医用画像情報学特論Ⅱ	教 教 教 准 講 講	授 授 授 授 師 師	岡 富 齋 小 横 林	本 田 藤 島 塚 達	孝 博 祐 慎 記	英 信 樹 也 代 也
	医用画像情報工学特論	教	授	小	林	毅	範
	核化学特論	教 講	授 師	富 横	沢 塚	比 呂 記	之 代
	医用画像処理学特論	教 講	授 師	岡 林	本	孝 達	英 也
	環境放射線科学Ⅰ	教 教 教	授 授 授	大 岡 富	谷 本 沢	浩 孝 比 呂	樹 英 之
	診療画像技術学特論	教 教 講 講	授 授 師 師	岡 富 林 横	本 田 塚	孝 博 達 記	英 信 也 代
	救急撮影技術学特論	教 教 准 教	授 授 授	岡 富 菱	本 田 木	孝 博	英 信 清
専門実習科目	診療画像技術学臨床実習	教 教 准 講	授 授 授 師	岡 富 菱 林	本 田 木	孝 博 達	英 信 清 也
	核医学検査技術学臨床実習	教 講 講	授 師 師	岡 横 伊	本 塚 東	孝 記 利	英 代 宗
	放射線治療技術学臨床実習	教 教 准 教	授 授 授	岡 大 菱	本 谷 木	孝 浩	英 樹 清
	先端医療施設臨床実習	教 教 教 教	授 授 授 授	岡 大 古 富	本 谷 徳 田	孝 浩 純 博	英 樹 一 信
専門科目	診療放射線学特別研究	教 教 教 教 教 教 准 准 講 講	授 授 授 授 授 授 授 師 師	岡 富 大 神 富 齋 菱 太 横 林	本 沢 谷 長 田 藤 木 田 塚	孝 比 呂 浩 達 博 祐 記 達	英 之 樹 郎 信 樹 清 樹 代 也

診療放射線学専攻 博士前期課程 医学物理士コース

科目区分	授業科目名	指導教員および担当教員			
共通科目	科学研究・論文技法学	教授	石川ひろの (公衆衛生学研究科)	樹範	之
		教授	大谷浩毅	比呂	一
		教授	小沢徳純	博祐	信
		教授	古富齋藤	横塚	樹代
		教授	伊東	利達	也
		教授	伊東	利達	宗他
		教授	富大横	沢谷塚	比呂
		教授	比呂	之	樹代
		教授	岡富小菱	本沢林木	孝比呂
	教授	英之範	清也	達	
	教授	岡神太横	本長田塚	孝達	
	教授	英郎	樹代	記	
	教授	岡本	孝	英	
	教授	大岡	谷本	浩孝	
	教授	大谷	浩毅	樹範	
	教授	小古	徳木	純	
	教授	小富古横	林沢徳塚	比呂	
	教授	伊東	利	之	
	教授	伊東	利	一代	
	教授	小富古横	林沢徳塚	比呂	
	教授	伊東	利	一代	
専門科目	統計科学	教授	古徳	純	一
	物理数学	教授	古徳	純	一
	数値計算	教授	古徳	純	一
	力学特論	教授	小林	毅	範
	量子力学特論	教授	小林	毅	範
	熱力学・統計力学	教授	富沢	比呂	之

科目区分	授業科目名	指導教員および担当教員					
専門科目	放射線物理学特論	教	授	小	林	毅	範
	電磁気学	教	授	小	林	毅	範
	医用画像情報学特論Ⅱ	教 教 教 准 講 講	授 授 授 授 師 師	岡 富 齋 小 横 林	本 田 藤 島 塚	孝 博 祐 慎 記 達	英 信 樹 也 代 也
	解剖学特論	教 准	授 教	大 太	谷 田	浩	樹
	生理学特論	教 准	授 教	大 太	谷 田	浩	樹
	放射線腫瘍学	教 准	授 教	大 太	谷 田	浩	樹
	放射線計測学特論	教	授	大	谷	浩	樹
	原子核物理学	教	授	小	林	毅	範
実習科目	診療画像技術学臨床実習	教 教 准 講	授 授 授 師	岡 富 菱 林	本 田 木	孝 博 達	英 信 清 也
	核医学検査技術学臨床実習	教 講 講	授 師 師	岡 横 伊	本 塚 東	孝 記 利	英 代 宗
	放射線治療技術学臨床実習	教 教 准 教	授 授 授 授	岡 大 菱	本 谷 木	孝 浩	英 樹 清
	医学物理総合実習	教 教 教 准 講 講	授 授 授 授 師 師	岡 大 古 菱 林 横	本 谷 徳 木 塚	孝 浩 純 達 記	英 樹 一 清 也 代
	先端医療施設臨床実習	教 教 教 教	授 授 授 授	岡 大 古 富	本 谷 徳 田	孝 浩 純 博	英 樹 一 信
専門科目	医学物理特別研究	教 教 教	授 授 授	小 大 古	林 谷 徳	毅 浩 純	範 樹 一

※医学物理士認定機構による「認定医学物理教育コース」に認定されています。

診療放射線学専攻 博士後期課程 診療放射線コース

科目区分	授業科目名	指導教員および担当教員					
専門科目	医療管理・経営学	教 准	授 教	岡 小	本 島	孝 慎	英 也
	医用画像読影学	教 准 講	授 教 授 師	岡 神 太 伊	本 長 田 東	孝 達 利	英 郎 樹 宗
	環境放射線科学Ⅱ	教 教 教	授 授 授	大 岡 富	谷 本 沢	浩 孝 比 呂	樹 英 之
専門実習科目	診療画像技術学臨床実習	教 教 講	授 授 師 師	岡 富 横 林	本 田 塚	孝 博 記 達	英 信 代 也
	放射線治療学臨床実習Ⅰ	教 教 准	授 授 教	岡 大 菱	本 谷 木	孝 浩	英 樹 清
	先端医療施設臨床実習	教 教 教 教 准	授 授 授 授 授	岡 大 古 富 菱	本 谷 徳 田 木	孝 浩 純 博	英 樹 一 信 清
専門科目	診療放射線学特殊研究	教 教 教 教 准 准 講 講	授 授 授 授 授 師 師 師	岡 富 富 齋 菱 小 横 林 伊	本 沢 田 藤 木 島 塚 東	孝 比 博 祐 慎 記 達 利	英 之 信 樹 清 也 代 也 宗

診療放射線学専攻 博士後期課程 医学物理士コース

科目区分	授業科目名	指導教員および担当教員
専門科目	医療管理・経営学	教 授 岡 本 孝 英 准 教 授 小 島 慎 也
	医用画像読影学	教 授 岡 本 孝 英 准 教 授 太 田 孝 英 講 師 伊 東 利 宗
	環境放射線科学Ⅱ	教 授 大 谷 浩 樹 教 授 岡 富 本 沢 孝 比 呂 英 之
専門実習科目	放射線治療学臨床実習Ⅰ・Ⅱ	教 授 岡 本 孝 英 准 教 授 大 菱 本 谷 木 浩 樹 清
	先端医療施設臨床実習	教 授 岡 本 孝 英 教 授 大 古 徳 純 博 樹 一 信 清 教 授 富 田 木 准 教 授 菱
専門科目	医学物理特殊研究	教 授 小 林 毅 範 教 授 大 谷 浩 樹 教 授 古 徳 純 一

※医学物理士認定機構による「認定医学物理教育コース」認定の申請にむけて準備を進めています。

臨床検査学専攻 博士前期課程

科目区分	授業科目名	指導教員および担当教員
共通科目	研究倫理	教授 石川ひろの (公衆衛生学研究科) 他
	生理機能検査学	准教授 増山里枝子 准教授 咲間妙子 准教授 崎原ことえ
	人体システム生理学	准教授 増山里枝子 教授 鈴木幸一 教授 後藤原孝 教授 藤原孝
	研究情報処理方法	教授 榎村浩一
	分子代謝生化学	准教授 赤間剛里 准教授 後藤真
専門科目 臨床検査医学	細胞病理検査学講義 細胞病理検査学演習	教授 望月眞奈 講師 宮田佳
	分子生物学講義 分子生物学演習	教授 鈴木幸一 准教授 後藤真
	臨床病態生理学講義 臨床病態生理学演習	教授 望月眞
	画像生理情報解析学講義 画像生理情報解析学演習	准教授 増山里枝子 准教授 崎原ことえ
	臨床検査医学特別研究	教授 鈴木幸一 教授 後藤眞記 教授 望月原孝 教授 藤原井村浩一 教授 大榎福村晃 准教授 福松田村充 准教授 松田村充 准教授 咲間山枝子 准教授 増崎原ことえ 准教授 後藤原眞里 准教授 赤間剛 講師 宮田佳 講師 亀田貴寛
専門科目 臨床検査技術学	先端血液解析学講義 先端血液解析学演習	准教授 福藤晃子 教授 大原井記 教授 淳
	感染制御学講義	教授 後榎藤一雄 教授 村一浩
	病原体検査学講義 病原体検査学演習	教授 鈴木幸一 教授 後榎村一 教授 松村充

科目区分	授業科目名	指導教員および担当教員					
専門科目 臨床検査技術学	生体防御機能解析学講義 生体防御機能解析学演習	教 教	授 授	鈴 榎 亀	木 村 田	幸 浩 貴	一 一 寛
	臨床検査技術学特別研究	教 教 教 教 教 准 准 准 准 准 准 准 講	授 授 授 授 授 授 授 授 授 授 授 授 師 師	鈴 後 望 藤 大 榎 福 松 咲 増 崎 後 赤 宮 亀	木 藤 月 原 井 村 田 村 間 山 原 藤 間 田 田	幸 一 孝 浩 晃 妙 里 こ 真 佳 貴	一 雄 眞 記 淳 一 子 充 子 え 里 剛 奈 寛

臨床検査学専攻 博士後期課程

科目区分	授業科目名	指導教員および担当教員
専門科目	生理機能検査学特論	准教授 増山 里枝子 准教授 咲間 妙子 准教授 崎原 ことえ
	病態情報解析学特論	教授 大藤 井原 淳 教授 槇村 孝浩 記 准教授 福田 晃 一子
	病理検査学特論	教授 望月 眞
	感染生体防御機能解析学特論	教授 鈴木 木藤 幸一 一雄 教授 後藤 村 浩 一充 准教授 槇村 村 貴 寛 講師 松田 貴 寛 亀 田 貴 寛
	臨床化学検査学特論	准教授 赤後 間藤 眞 剛里
	臨床検査学特殊研究	教授 鈴木 木藤 幸一 一雄 教授 後藤 月原 孝 眞記 教授 望藤 大 浩 一子 教授 槇村 井村 晃 子 准教授 福松 村田 妙子 准教授 松福 村間 里枝 准教授 咲増 山原 こと 准教授 崎後 藤間 真 剛 准教授 赤宮 田 佳 奈 講師 亀 田 貴 寛

救急救護学専攻 修士課程

科目区分	授業科目名	指導教員および担当教員
基礎科目	研究倫理	教授 石川ひろの (公衆衛生学研究科) 他
	救急救護総論	教授 國府田 洋 明 講師 高山 祐 輔 特任教授 高鈴 川 正 之
	保健統計学	准教授 藤崎 竜 一
	救急救護学研究方法演習	准教授 藤崎 竜 一
	コミュニケーション特論	非常勤 橋本 章 子
	救急救護倫理特論	准教授 水安 達 也 准講師 高梨 利 満 講師 酒本 瑞 姫 講師 菊川 忠 臣
	地域保健学	教授 高橋 謙 造
	海外救急救護体制特論	教授 西森 茂 樹 教授 茂呂 浩 光 講師 酒本 瑞 光 講師 高山 祐 輔
専門科目	救急救護医学特論Ⅰ	准教授 小菅 宇 之一 教授 藤崎 竜 一
	救急救護医学特論Ⅱ	准教授 小菅 宇 之一 教授 藤崎 竜 一
	救急救護医学演習Ⅰ	准教授 小菅 宇 之一 教授 藤崎 竜 一
	救急救護医学演習Ⅱ	准教授 小菅 宇 之一 教授 藤崎 竜 一
	救急救護政策・行政特論	教授 茂呂 浩 光 准教授 大滝 恭 弘 講師 水安 達 也 特任教授 高山 祐 輔 教授 高鈴 川 正 之
	救急救護政策・行政演習	教授 國府田 洋 明 准教授 大滝 恭 弘 講師 大久保 隆 弘 特任教授 高山 祐 輔 教授 高鈴 川 正 之
	災害・防災危機管理特論	教授 國府田 洋 明 准教授 大滝 恭 弘 講師 大久保 隆 弘 講師 菊川 忠 臣
	災害・防災危機管理演習	准教授 茂水 浩 光 講師 水菊 安 川 忠 臣

科目区分	授業科目名	指導教員および担当教員					
専門科目	救急救護教育指導特論	教 講 講	授 師 師	高 酒 菊	梨 本 川	利 瑞 忠	満 姫 臣
	救急救護教育指導演習	教 講 講	授 師 師	高 酒 菊	梨 本 川	利 瑞 忠	満 姫 臣
	救急救護学特別研究	教 教 教 教 教 准 准 准 准 講 講 講 助	授 授 授 授 授 授 授 授 師 師 師 教	國 小 西 茂 大 藤 高 大 水 酒 菊 高 沖 中	府 田 菅 森 呂 滝 崎 梨 保 安 本 川 山 園 村	洋 宇 茂 浩 恭 竜 利 隆 達 瑞 忠 祐 義 鈴	明 之 樹 光 弘 一 満 弘 也 姫 臣 輔 藤 男

スポーツ健康科学専攻 修士課程

科目区分	授業科目	指導教員および担当教員
基礎科目	スポーツ健康科学研究法特講	教授 蛭間 栄介 准教授 宮本 川之 非常勤講師 宮川 宗
	スポーツ生理学特講	教授 蛭間 栄介
	スポーツバイオメカニクス特講	准教授 佐保 泰典 助教 佐賀 明生
	機能解剖学特講	准教授 浅野 安信 講師 加藤 基
	スポーツ社会学特講	教授 清水 正直 助教 島崎 典樹
	国際スポーツ健康科学特講	教授 清水 正典 助教 蛭間 栄介 准教授 佐野 村茂 准教授 川田 茂雄 准教授 佐保 泰明 准教授 小川 佳子 講師 加藤 基
専門科目 スポーツ科学領域	コンディショニング・リコンディショニング特講	准教授 佐野 村学 准講師 加藤 泰明
	コンディショニング・リコンディショニング演習	准教授 佐野 村学 准講師 加藤 泰明
	体力・動作測定特講	准教授 佐保 泰典 助教 加藤 明生
	体力・動作測定演習	准教授 佐保 泰典 助教 加藤 明生
	コーチング学特講	教授 岩出 雅之
	スポーツ外傷・障害学特講	准教授 深井 厚
	スポーツ救急処置特講	准教授 宮本 巨潤 准教授 笹原
	スポーツ栄養学特講	講師 横田 由香里 (スポーツ医療学科)
	障がい者スポーツ特講	准教授 下村 一之 (スポーツ医療学科)
	アンチ・ドーピング特講	准教授 丸山 桂司 (薬学科)

科目区分	授業科目	指導教員および担当教員
専門科目 健康科学領域	健康運動処方特講	教授 佐藤 真治
	健康運動処方演習	教授 佐藤 真治
	細胞生物学特講	准教授 川田 茂雄 准教授 小川 佳子 准教授 浅野 安信
	細胞生物学演習	准教授 川田 茂雄 准教授 小川 佳子 准教授 浅野 安信
	健康体力学特講	教授 蛭間 栄介
	生活習慣病特講	教授 滝川 一
	衛生学・公衆衛生学特講	非常勤講師 宮川 宗之
	スポーツ内科学特講	准教授 小川 佳子
	健康免疫学特講	講師 宮下 惇嗣 (医真菌研究センター)
	衛生化学特講	准教授 山田 剛 (医真菌研究センター)
特別研究科目	スポーツ健康科学特別研究※	教授 佐藤 真治 *
		教授 清水 正典 *
		教授 滝川 一 *
		教授 蛭間 栄介 *
		教授 島崎 直樹 *
		准教授 深井 厚学 *
		准教授 佐野 村学 *
		准教授 宮本 亘雄 *
		准教授 川田 茂雄 *
		准教授 笹原 潤子 *
自由科目	保健体育科教育学特講	教授 高田 彬成 (教育文化学科)
	保健体育科教育学演習	

※指導教員は特別研究科目の*がついている担当教員から選択してください。

帝京大学大学院 医療技術学研究科

- ・視能矯正学専攻
- ・看護学専攻
- ・診療放射線学専攻（診療放射線コース、医学物理士コース）
- ・臨床検査学専攻
- ・救急救護学専攻

帝京大学板橋キャンパス事務部教務課 大学院係

〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1

TEL : 03-3964-7051

- ・スポーツ健康科学専攻

帝京大学八王子キャンパス 本部入試室 入試企画室

〒192-0395 東京都八王子大塚359番地

TEL : 042-678-3317

- ・柔道整復学専攻

帝京大学宇都宮キャンパス 学生サポートチーム 医療技術学研究科担当

〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1

TEL : 028-627-7123



TEIKYO

<https://www.teikyo-u.ac.jp/>

郵便ポスト
投函不可

→郵便局の
窓口へ

1 7 3 - 8 6 0 5

書
留

東京都板橋区加賀2-11-1

帝京大学 板橋キャンパス

事務部 教務課 大学院係 行

(大学院出願書類 在中)

該当するものに☑し、住所、氏名をご記入ください。

研究科	<input type="checkbox"/> 医学研究科	
	<input type="checkbox"/> 薬学研究科	
	<input type="checkbox"/> 医療技術学研究科	<input type="checkbox"/> 視能矯正学 <input type="checkbox"/> 看護学 <input type="checkbox"/> 診療放射線学 <input type="checkbox"/> 臨床検査学 <input type="checkbox"/> 救急救護学
	<input type="checkbox"/> 公衆衛生学研究科	<input type="checkbox"/> 専門職学位 <input type="checkbox"/> 博士後期
	<input type="checkbox"/> 医療データサイエンスプログラム	
専攻科	<input type="checkbox"/> 助産学専攻科	
志願者	住所	〒 _____
	氏名	

2024年度入試用

郵便ポスト
投函不可

→郵便局の
窓口へ

3 2 0 8 5 5 1

書
留

栃木県宇都宮市豊郷台1-1

帝京大学 宇都宮キャンパス

学生サポートチーム 医療技術学研究科担当 行

(大学院出願書類 在中)

該当するものに☑し、住所、氏名をご記入ください。

研究科	<input type="checkbox"/> 医療技術学研究科 <input type="checkbox"/> 柔道整復学	専攻
志願者	住所	〒 _____
	氏名	

2024年度入試用

2024年度 帝京大学大学院・助産学専攻科 入学願書

受験番号	※大学使用欄		帝京大学 学籍番号	※帝京大学出身者のみ	
フリガナ			男 ・ 女	入試区分	いずれかに○ 一般 ・ 社会人 助産学専攻科
氏名					
生年月日	(西暦で記入) 年 月 日 (歳)		国籍	外国籍の方のみ記入	
時期区分	いずれかに○ Ⅰ期 ・ Ⅱ期 ・ Ⅲ期 ・ Ⅳ期 ・ 第1回 ・ 第2回 ・ 第3回 ・ 第4回				
現住所	〒				
電話番号	()		携帯 電話番号	()	
e-mail					
志望研究科・ 専攻・コース					
志望課程					
指導教員	※薬学研究科、医療技術学研究科、保健学研究科、総合データ応用 プログラム、医療データサイエンスプログラムのみ記入。				
開始年月～終了年月 (西暦で記入)	学歴 (高等学校卒業以降を記入、卒業 (見込) ・ 修了等具体的に記入)				
年 月	年 月		国・公・私立・他		高等学校 卒業
年 月	年 月		国・公・私立・他		
年 月	年 月		国・公・私立・他		
年 月	年 月		国・公・私立・他		
年 月	年 月		国・公・私立・他		
年 月	年 月		国・公・私立・他		
開始年月～終了年月 (西暦で記入)	職歴 (退職・在職中等具体的に記入)				
年 月	年 月				
年 月	年 月				
年 月	年 月				
年 月	年 月				
年 月	年 月				
年 月	年 月				
年 月	年 月				
医療系国家 資格取得 (見込) 年月日	国家資格	登録番号 (取得見込除く)	取得・取得見込年月日 (西暦で記入)		
		第 号	年 月	取得・取得見込	
		第 号	年 月	取得・取得見込	
		第 号	年 月	取得・取得見込	
入学後 予定身分	いずれかに○ 大学院 ・ 助産学専攻科 ・ 社会人 (常勤 ・ 非常勤)				
長期履修	いずれかに○ 希望する ・ 希望しない		※薬学研究科、医療技術学研究科、保健学研究科、公衆衛生学研究科、総合 データ応用プログラム、医療データサイエンスプログラム、理工学研究科、 地域経済政策学専攻のみ記入。長期履修希望者は、長期履修申請書を出願 書類とあわせて提出してください。		

写真貼付欄

写真の裏に
専攻・課程・氏名を明記

出願前3ヵ月以内のもの
4 cm × 3 cmの無帽無背景

カラー証明写真厳守

2024年度 帝京大学大学院・専攻科 受験票

受験番号	※大学側使用欄
志望研究科等 志望専攻科	
志望専攻等	
志望課程・コース ※助産学専攻科以外	
専攻主科目 ※医学研究科のみ	
フリガナ	
氏名	
試験場 ※自動表示	
備考	

※太枠内すべて記載してください。

この受験票は当日会場でお渡しします。身分を証明できるものをご持参ください。

受験上の注意

- 受験生は必ずこの受験票を携帯してください。
- この受験票は試験の際、机の上に置いてください。
- 合格者には合格発表当日、入学許可書、手続き関係書類を速達郵便で発送します。
- 不合格者への郵便による通知は行いません。
- 電話・郵便等による合否の問合せには一切応じません。

2024年度 帝京大学大学院・専攻科 保管票
(大学側控)

受験番号	※大学側使用欄	写真貼付欄 (写真データでの挿入可) 出願前3ヶ月以内のもの 4cm×3cmの無帽・無背景 カラー証明写真
志望研究科等 志望専攻科		
志望専攻等		
志望課程・コース ※助産学専攻科以外		※データでの挿入の場合は、 枠に合わせて挿入してください。 貼付の場合は、写真の真 に専攻・課程・氏名を明記する こと。
専攻主科目 ※医学研究科のみ		
フリガナ		性別
氏名		
現住所	〒	
電話番号	()	

※太枠内すべて記載してください。

入学検定料決済ガイドライン「収納証明」貼付欄

こちらに収納証明を貼付してください。

受験 番号	※
----------	---

志 望 理 由 書

研究科・専攻 プログラム・専攻科			
課程・コース (助産学専攻科以外)		氏名	

研究科・プログラム 志望の方

志望理由(志望理由・これまでの研究活動や実務経験・今後の抱負等) 下欄に入力してください。

助産学専攻科 志望の方

志望理由(800文字以内) 下欄に入力してください。

SAMPLE

フォントは明朝体、サイズは11.0ポイントにて入力してください。

※欄は大学側で記入します。

0

文字

(文字数には空白も含まれます。)

研究計画書

志望研究科 等
志望課程・コース
氏名

研究科・専攻（プログラム）を選択してください。
課程・コースを選択してください。
氏名を入力してください。

■志望領域・分野

■希望研究テーマ

■研究の目的・動機

SAMPLE

■研究方法

1. 対象（目的）

2. データ等の収集方法（実験方法）

3. データ等の分析方法（期待される結果）

受験 番号	※
----------	---

業績一覧表

研究科・専攻 プログラム			
課程・コース			氏名
種類(著書、学術論文、学会発表等)	発行、発表 の年月	出版社、掲載雑誌、 発表学会等の名称	概要 (著者名、巻数、頁、題名および簡潔な説明)
SAMPLE			

※欄は大学側で記入します。

欄が足りない場合は、ファイルをコピーして作成してください。

(社会人用)

受験 番号	※
----------	---

受験承諾書

帝京大学学長 殿

このたび、 _____ が、貴大学院

を

受験することを承諾します。

なお、入学した場合は、在職のまま就学することを認めます。

SAMPLE

20 年 月 日

機 関 名
(病院・会社名等) _____

所属・役職 等 _____

氏 名 _____

印

注) 就学について応諾できる方が記載してください。

※欄は大学側で記入します。

長期履修申請書

20 年 月 日

帝京大学 学長 冲永 佳史 殿

志望研究科・専攻等

志望課程・コース

氏名

⑩

下記の通り長期履修を申請します。

受験番号	※	入学年度	※	年度
長期履修期間	20 年 4 月 1 日 ~ 20 年 3 月 31 日 (年間)			
勤務先 (職種)	()			
勤務先所在地	〒	TEL	()	
申請理由				

履修計画				

指導教員の意見				

指導教員氏名				⑩

※欄は大学側で記入します。